



「<sup>ようじき</sup>幼児期までの<sup>そだ</sup>育ちに<sup>かか</sup>係る<sup>きほんてき</sup>基本的な<sup>かしょう</sup>ヴィジョン（<sup>い</sup>仮称）」（以下『<sup>げつ</sup>はじめての100か月の<sup>げつ</sup>ヴィジョン』という。）

# 『<sup>げつ</sup>はじめての100か月<sup>なん</sup>ヴィジョン』って何ですか？

○<sup>しょうがっこう</sup>こどもが<sup>はい</sup>小学校に入る<sup>まえ</sup>前までの<sup>じゅうよう</sup>重要な<sup>じ</sup>時期に、<sup>ひとりひとり</sup>一人一人が<sup>すこ</sup>健やかに<sup>そだ</sup>育つことができるよう、<sup>みな</sup>皆に<sup>たいせつ</sup>大切に<sup>きほんてき</sup>してほしい<sup>かんが</sup>基本的な<sup>かた</sup>考え方をまとめたものです。

○『<sup>げつ</sup>はじめての100か月<sup>なん</sup>ヴィジョン』を<sup>ひと</sup>すべての<sup>りかい</sup>の人に<sup>しゃかい</sup>理解<sup>かんが</sup>してもらうことで、<sup>かた</sup>社会の<sup>かんが</sup>考え方を<sup>か</sup>変えていく<sup>かしんぱん</sup>きっかけにする<sup>ほうこう</sup>ことと、「<sup>しめ</sup>羅針盤」が<sup>せいふ</sup>方向を示すように、<sup>せいふ</sup>政府が<sup>せいさく</sup>どのような<sup>とく</sup>政策に<sup>しめ</sup>取り組む<sup>やくわり</sup>べき<sup>は</sup>なの<sup>は</sup>かを示す<sup>は</sup>役割を果たします。



# 「<sup>げつ</sup>はじめての100か月<sup>なん</sup>」って何ですか？

○<sup>かあ</sup>お母さんが<sup>にんしん</sup>こどもを<sup>しょうがっこう</sup>妊娠<sup>ねんせい</sup>してから<sup>とちゅう</sup>小学校1年生の<sup>つき</sup>途中<sup>かぞ</sup>くらいまでを<sup>げつ</sup>月で<sup>な</sup>数えると、<sup>なが</sup>だいたい100か月<sup>じんせい</sup>になります。<sup>じゅうよう</sup>長い<sup>きかん</sup>人生の<sup>は</sup>はじめての<sup>は</sup>重要な<sup>は</sup>期間<sup>は</sup>だ<sup>は</sup>という<sup>は</sup>メッセージが<sup>こ</sup>込められています。

# 『はじめての100か月ヴィジョン』 はなぜ必要なのですか？

こどもが小学校に入る前までの時期は、  
人生を幸せな状態（ウェルビーイング<sup>※</sup>）で過ごすために最も大切な時期です。

しかしながら、  
どんなこどもであってもひとしく健やかに育つことができるのかについては、課題があります。

生まれるとき、保育園などに通う時、小学校に入る前後や、家庭、園、関係機関などの  
間に切れ目が多いため、

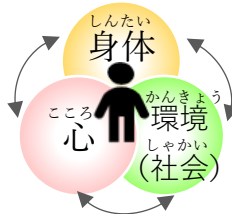
社会全体でこどもの育ちを支える共通した考え方を共有

×

『はじめての100か月ヴィジョン』に  
関連する施策の強力な推進のための道しるべが必要。

※ここでは「幸せな状態」とは、身体、心、取り巻く環境や社会の状況のすべての面で良い状態にあることを意味しており、専門用語で「ウェルビーイング」と呼んでいます。

すべてのこどもの生涯にわたる  
身体的・精神的・社会的に良い状態・幸せな  
状態（ウェルビーイング）



⇒すべての人の  
ウェルビーイングにもつながる

# 『はじめての100か月ヴィジョン』では、

どんなことを大切にしているのですか？

こども基本法の理念にのっとり整理した  
「幼児期までのこどもの育ちの5つのヴィジョン」



# けんり そんげん まも こどもの権利と尊厳を守る

## けんり まも すこ そだ ⇒こどもの権利が守られながら健やかに育つ

### ✓ にゅうようじ う けんり 乳幼児は生まれながらに権利をもっている

すべてのこどもが、生まれながらに権利を持っている存在として一人一人のちが  
がそんちよう尊重されている。

### ✓ にゅうようじ おも ねが そんちよう 乳幼児の思いや願いの尊重

幼児期のこどもの意見は必ずしも言葉で表されるものではなく、さまざまなおも  
願いとして色々な形で表れる。一人一人のペースがあるため、その思いや願いを受  
け止めそんちよう尊重すること。

### ✓ せいめい せいかつ ほしょう 生命や生活を保障すること

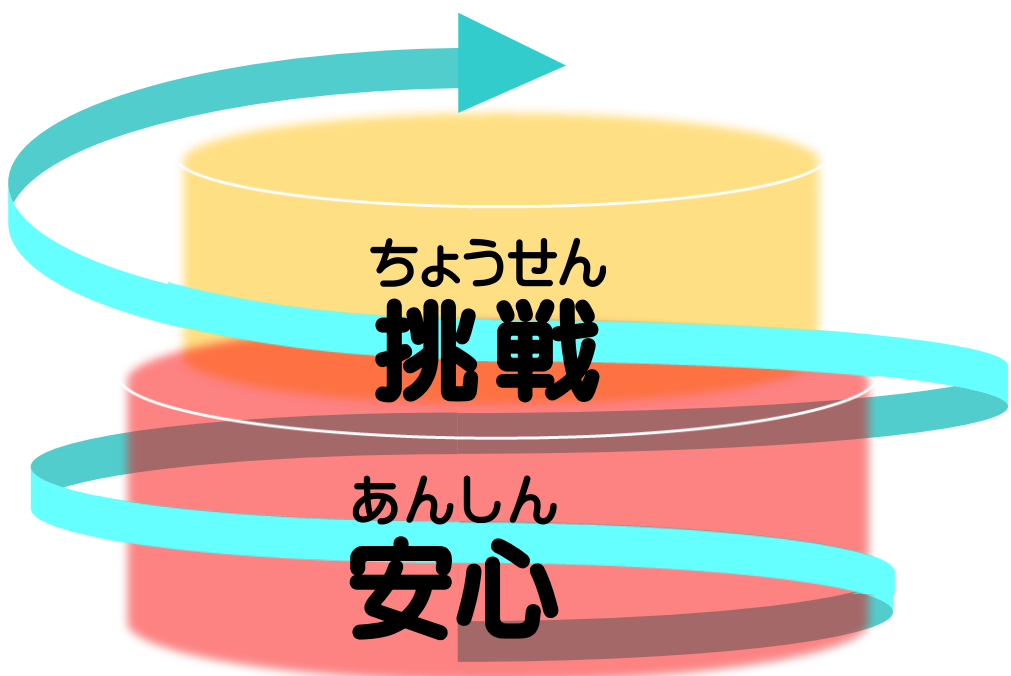
どんな環境に生まれ育っても、心身・社会的にどんな状況であっても、すべての  
こどものせいめい生命・えいようじようたい栄養状態を含む健康・いしょくじゅう衣食住が守られている。

# 02

## 「安心と挑戦の循環」を通して こどものウェルビーイングを高める

⇒乳幼児の育ちには

「アタッチメント」の形成と豊かな「遊びと体験」が重要



アタッチメント (愛着)  
＜安心＞

こどもが怖くて不安な時などに身近な大人が寄り添う  
ことで、「安心」することができる。

豊かな遊びと体験  
＜挑戦＞

様々な人や環境と出会い、「遊びと体験」をする  
ことで、外の世界へ「挑戦」していくことができる。

# たんじょうまえ 「こどもの誕生前」から き め そだ ささ 切れ目なく育ちを支える

おおむ さい ようじき お  
概ね3歳から幼児期の終わり

おおむ さい さい  
概ね1歳から3歳

にゅうじき  
乳児期



ほいくえん ぜんご  
保育園などに入園する前後



しょうがっこう はい ぜんご  
小学校に入る前後...  
など

がくどうき  
・学童期  
ししゆんき  
・思春期  
せいねんき  
・青年期



ささ かわ  
支えられていた側から  
ささ かわ  
支える側へ

しょうがくせい ころ  
・小学生以降から  
にゅうようじ かか きかい たいせつ  
乳幼児と関わる機会も大切。

しょうがっこう はい まえ はい あと か  
・小学校に入る前も、入った後も、変わらず  
そだ たいせつ  
育っていけるようにすることが大切。

う まえ じゆんびき かん おや じょうほう え  
・こどもが生まれる前の準備期間から親が情報を得たり  
まな ささ たいせつ  
学んだりできるよう支えることが大切。

ねんれい おう  
こどもの年齢に応じた  
ふしめ おお き め  
節目が大きな切れ目にならないように。

にんしんき  
妊娠期



こどもの  
生まれる前後

ささ かわ  
支えられていた側から  
ささ かわ  
支える側へ

## 保護者・養育者のウェルビーイングと

せいちょう しえん おうえん

## 成長の支援・応援をする

⇒こどもの育ちそのものにとって重要

✓ 支援・応援を受けることを当たり前

こどもを育てることの最初の責任が保護者にあるからこそ、保護者が幸せな状態（ウェルビーイング）であり、親として成長できるよう、支援・応援は不可欠。

✓ すべての保護者・養育者とつながること

すべての保護者、こどもが支援につながるができるよう、こども同士がつながる身近な場所の活用など接点づくりの工夫が欠かせない。

✓ 男女ともに保護者・養育者が共育ち

養育に必要な脳や心の働きは男女差なく経験によって育つ等。

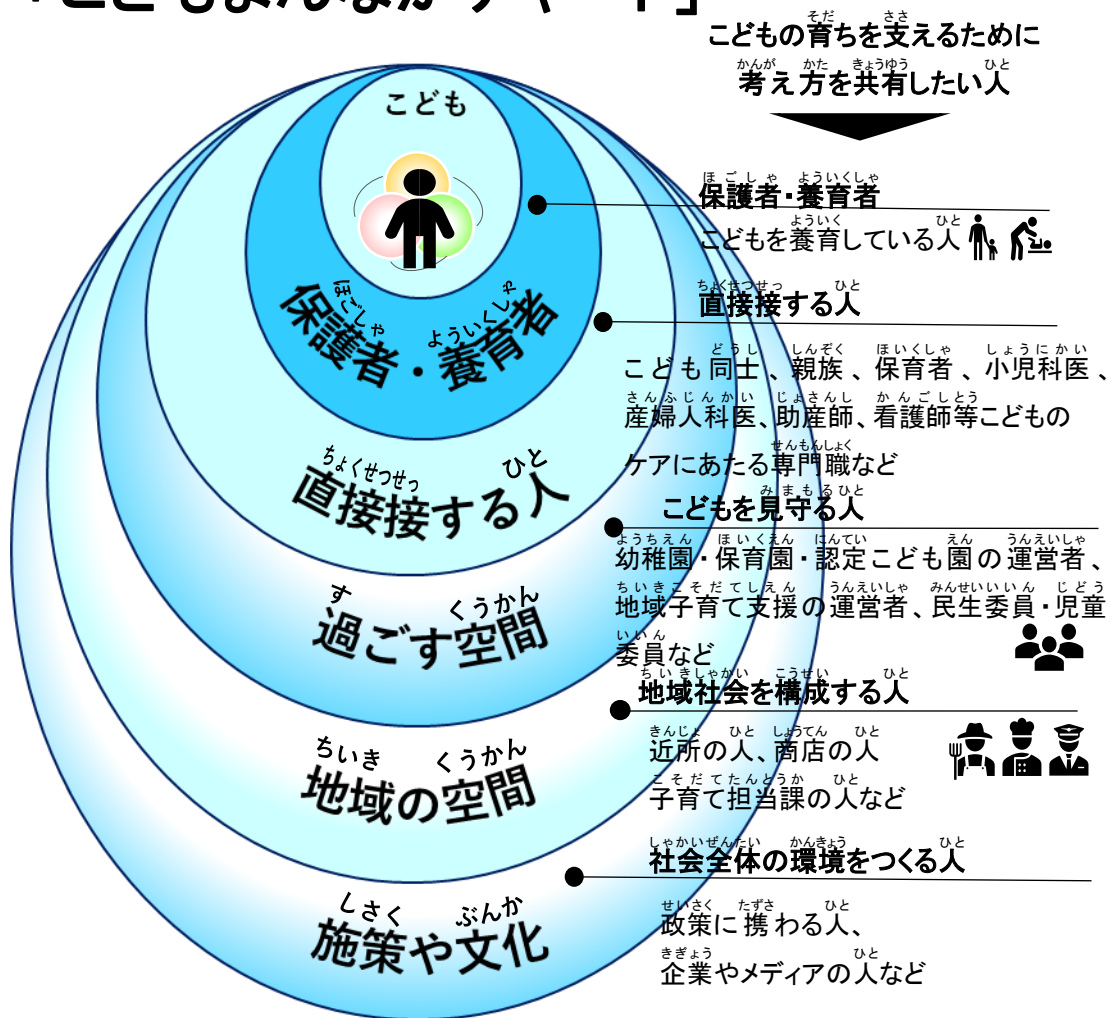


# 05

## そだ ささ かんきょう こどもの育ちを支える環境や

## しゃかい ひろ ぶん 社会の広がりを増やしていく

### 「こどもまんなかチャート」



※空間には幼稚園・保育園・認定こども園や子育て支援の施設

のみならず、公園や自然環境、デジタル空間含む

そだ さいしよ せきにんしゃ ほごしゃ やくわり  
こどもを育てる最初の責任者として保護者の役割が  
じゅうよう しゃかい ささ おうえん ひつよう  
重要だからこそ、社会が支えて応援することが必要。

いま しゃかいこうぞう あ はっそう  
今の社会構造に合った発想で、  
そだ ささ ひつよう  
こどもの育ちを支えることが必要。

### してん ✓こどもまんなかチャートの視点

ひと た いち  
すべての人がそれぞれの立ち位置で、こどもを  
ささ とうじしゃ  
支える当事者となることについて、「こどもま  
なか」の視点で分かりやすく。

### ふく かんきょう しゃかい ✓こどもも含め環境や社会をつくる

た いち ささ ひとどうし  
さまざまな立ち位置で、こどもを支える人同士を  
つなぐ、コーディネータを担う存在が必要。

# こんご けんとうじこう 今後の検討事項

じっこうせい げつ  
実効性のある『はじめての100か月ヴィジョン』

ひつよう なん  
とするために必要なことは何ですか？

✓ <sup>たいこう いち</sup>こども大綱に<sup>しさく はんえい</sup>位置づけられる施策へ反映

ぐたいてき しさく きょうりよく すいしん ひつよう  
具体的な施策を強力に推進していくことが必要。

✓ <sup>かていちよう しれいとう</sup>こども家庭庁が司令塔となり、<sup>とりくみ いったいてき そうごうてき すいしん</sup>取組を一体的・総合的に推進

げつ  
『はじめての100か月ヴィジョン』の

① <sup>た ま みなお</sup>絶え間ない見直しをする。

② <sup>こうかてき ただ りかい こうどう うつ</sup>効果的に正しく理解してもらい、行動に移してもらう。

③ <sup>じつげん む ていきてき かんさつ ちょうさ かくにん たいせい</sup>実現に向けた定期的な観察や調査、確認できる体制をつくる。